

“食肉の生産から食卓までを繋ぐ”

日本産肉研究会第35回学術集会・奥州市牛の博物館開館30周年記念合同シンポジウム

国内の牛肉生産は 誰のために、何のために必要か？

日時 2025年5月17日(土)13:00~17:45
会場 奥州市前沢総合支所4階大会議室
(岩手県奥州市前沢字七日町裏71)

参加費 無料 定員 先着40名

＜関連行事＞ 研究発表 ポスター発表会

日時 2025年5月18日(日)10:00~11:00
会場 奥州市牛の博物館 体験棟
(岩手県奥州市前沢字南陣場103-1)

参加費 無料 ※展示見学は別途入館料が必要です
定員 先着20名

座長：松崎正敏 (弘前大学)

○13:05-13:50

「奥州市牛の博物館開館30年、新たな意気込み」

麻生 久 氏

(東北大学大学院農学研究科名誉教授・牛の博物館館長、日本産肉研究会前会長)

○13:55-14:35

「専門誌が考える現在の畜産、これからの畜産」

荒木 太郎 氏 (肉牛新報社代表取締役・肉牛ジャーナル編集長)

座長：小笠原英毅 (北里大学)

○14:50-15:20

「社会福祉法人が取り組む放牧および自給粗飼料での肉牛生産」

石川 一郎 氏 (社会福祉法人月山福祉会 理事長)

○15:20-15:50

「いわて短角牛、ジャージー牛の取組みから
釜石・和山牧場での放牧を生かした牛肉生産への広がり」

荻澤 紀子 氏 (株式会社東京宝山 代表取締役)

座長：後藤貴文 (北海道大学)

○15:50-16:20

「銘柄 前沢牛確立までの生い立ち」

後藤 利明 氏

(岩手ふるさと農業協同組合 農業販売グループ畜産課 課長)

○16:30-17:45

総合討論

どなた様もご参加
いただけます

奥州市牛の博物館

☎0197-56-7666

までお電話ください
(いずれも先着受付)



主催 日本産肉研究会

共催 奥州市、奥州市教育委員会 (主管：奥州市牛の博物館)

後援 岩手ふるさと農業協同組合 岩手江刺農業協同組合

お問い合わせ

The Cattle Museum
牛の博物館
TEL 0197-56-7666

